

1 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

国語の特質（そこに伝統がのった）を説明できる子どもを育ててほしい

ローマ字...小学校の外国語活動としてではなく，

日本語表記の一つ（漢字，かな，ローマ字）として指導すること

敬語 ...小学校では使えることを目指しながら，言語生活を豊かにするように考えること

解説書には，「言葉遣い」の意味について詳しく説明している

2 学習指導要領

中央審議会の答申 - 学習指導要領 - 解説書 の流れで捉えて欲しい

「生きる力」の理念は引き継いでいる

- ・ 課題を見いだし解決する力
- ・ 知識・技能の更新のための生涯にわたる学習
- ・ 他者や社会，自然や環境と共に生きること

（国語科では）

3領域1事項の中身は必要に応じて変更している

系統性を大切にしている

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を設けている

基礎基本の厳選

- （例）昔話
- ・ 昔話の構造を教える
 - ・ 転移して力となるものにする

各教科の基盤となる力となるように

- ・ （例）説明文（観察報告文）を読む力 観察報告文を書く力，観察報告を発表する力 へと転移するように
- ・ 子どもが自覚した課題を解決するために必要な思考力，判断力，表現力が養われな
いとけない

授業の中で，考え，自分で判断して，自分で表現する時間が必要

3 学習状況調査より

字数の中に明確に自分の考えを書く

- ・ 条件を明確にして書く活動が必要（80字で）（理由・説明の形で）
- ・ 要約力を育てる

思考力を育てるために

- ・ 課題を出したら児童が自分の考えを持つ時間を確保する
司会力を身につけさせる